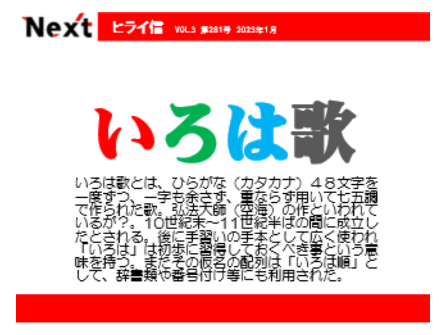
避雷針の復讐→「ヒライ信」の復習　　2025.4.23

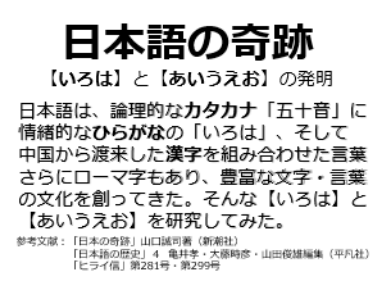
いろは歌 48 文字

平井　幸雄（三遊亭　圓塾）


Next　ヒライ信　VOL.3 第281号 2023年1月

いろは歌

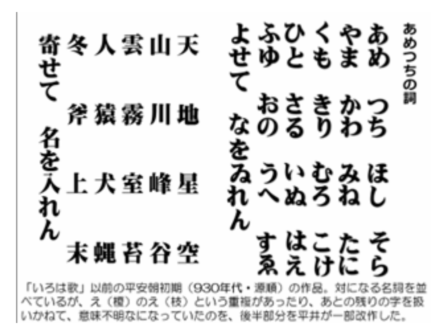
いろは歌とは、ひらがな（カタカナ）４８文字を一度ずつ、一字も余さず、重ならず用いて七五調で作られた歌。弘法大師（空海）の作といわれているが？。10世紀末～11世紀半ばの間に成立したとされる。後に手習いの手本として広く使われ「いろは」は初歩に習得しておくべき事という意味を持つ。またその仮名の配列は「いろは順」として、辞書類や番号付け等にも利用された。


日本語の奇跡

【いろは】と【あいうえお】の発明

日本語は、論理的な**カタカナ**「五十音」に情緒的な**ひらがな**の「いろは」、そして中国から渡来した**漢字**を組み合わせた言葉さらにローマ字もあり、豊富な文字・言葉の文化を創ってきた。そんな【いろは】と【あいうえお】を研究してみた。

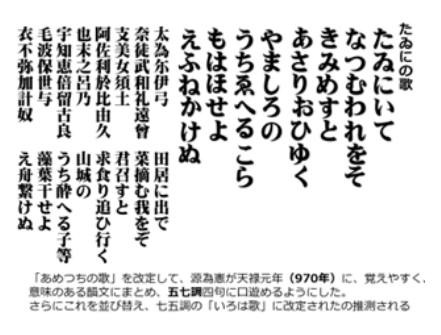
参考文献：「日本の奇跡」山口誠司著（新潮社）
「日本語の歴史」4　亀井孝・大藤時彦・山田俊雄編集（平凡社）
「ヒライ信」第281号・第299号


あめつちの詞

あめ　つち　ほし　そら
やま　かわ　みね　たに
くも　きり　むろ　こけ
ひと　さる　いぬ　はえ
ふゆ　おの　うへ　すゑ
よせて　なをゐれん

天　地　星　空
山　川　峰　谷
雲　霧　室　苔
人　猿　犬　蝿
冬　斧　上　末
寄せて　名を入れん

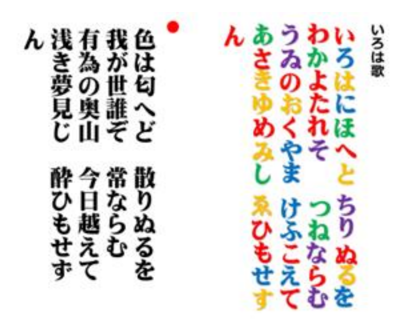
「いろは歌」以前の平安朝初期（930年代・源順）の作品。対になる名詞を並べているが、え（榎）のえ（枝）という重複があったり、あとの残りの字を扱いかねて、意味不明になっていたのを、後半部分を平井が一部改作した。


たゐにの歌

たゐにいて
なつむわれをそ
きみめすと
あさりおひゆく
やましろの
うちゑへるこら
もはほせよ
えふねかけぬ

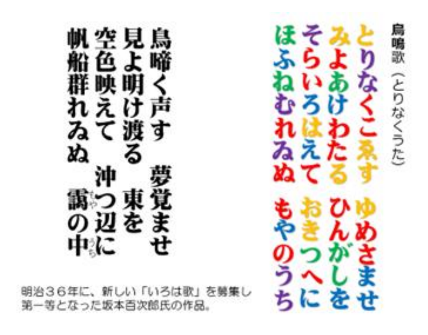
太為尓伊弖　田居に出で
奈徒武和礼遠曾　菜摘む我をぞ
支美女須土　君召すと
阿佐利於比由久　求食り追ひ行く
也末之呂乃　山城の
宇知恵倍留古良　うち酔へる子等
毛波保世与　藻葉干せよ
衣不弥加計奴　え舟繋けぬ

「あめつちの歌」を改定して、源為憲が天禄元年（**970年**）に、覚えやすく、意味のある韻文にまとめ、**五七調**四句に口遊めるようにした。
さらにこれを並び替え、七五調の「いろは歌」に改定されたの推測される


いろは歌

いろはにほへと　ちりぬるを
わかよたれそ　つねならむ
うゐのおくやま　けふこえて
あさきゆめみし　ゑひもせす
ん

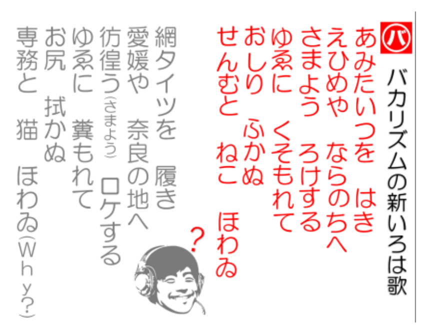
●
色は匂へど　散りぬるを
我が世誰ぞ　常ならむ
有為の奥山　今日越えて
浅き夢見じ　酔ひもせず
ん


鳥啼歌（とりなくうた）

とりなくこゑす　ゆめさませ
みよあけわたる　ひんがしを
そらいろはえて　おきつへに
ほふねむれゐぬ　もやのうち

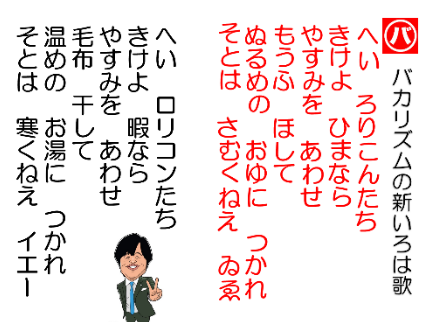
鳥啼く声す　夢覚ませ
見よ明け渡る　東を
空色映えて　沖つ辺に
帆船群れゐぬ　靄（もや）の中（うち）

明治３６年に、新しい「いろは歌」を募集し第一等となった坂本百次郎氏の作品。


バカリズムの新いろは歌

あみたいつを　はき
えひめや　ならのちへ
さまよう　ろけする
ゆゑに　くそもれて
おしり　ふかぬ
せんむと　ねこ　ほわゐ

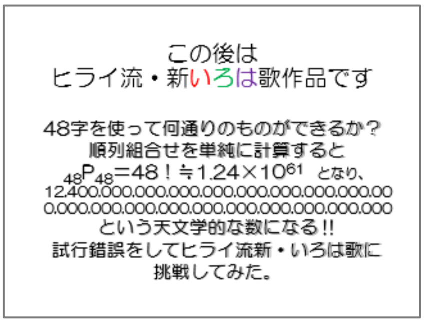
網タイツを　履き
愛媛や　奈良の地へ
彷徨う（さまよう）　ロケする
ゆゑに　糞もれて
お尻　拭かぬ
専務と　猫　ほわゐ（Why?）


バカリズムの新いろは歌

へい　ろりこんたち
きけよ　ひまなら
やすみを　あわせ
もうふ　ほして
ぬるめの　おゆに　つかれ
そとは　さむくねえ　ゐゑ

へい　ロリコンたち
きけよ　暇なら
やすみを　あわせ
毛布　干して
温めの　お湯に　つかれ
そとは　寒くねえ　イエー

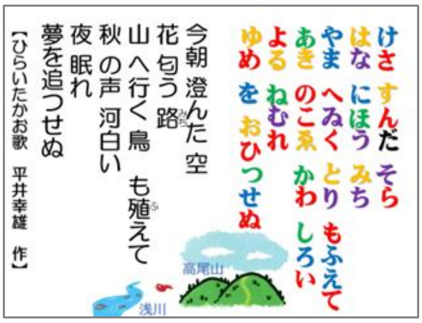
ヒライ作　いろは歌のいろいろ　その１


この後は
ヒライ流・新いろは歌作品です

48字を使って何通りのものができるか？
順列組合せを単純に計算すると
$_{48}P_{48}$＝48！≒1.24×10^{61}　となり、
12.400.000.000.000.000.000.000.000.000.000.000.000.000.000.000.000.000.000.000.000.000.000
という天文学的な数になる!!
試行錯誤をしてヒライ流新・いろは歌に
挑戦してみた。

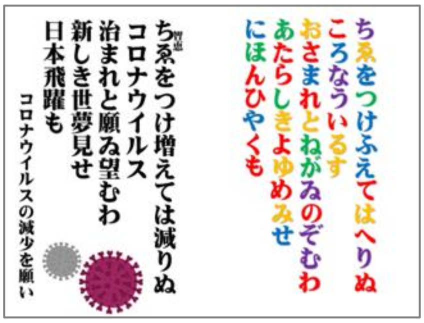
いろは４８文字を一文字ずつ使ってできる組み合わせは、順列組合せで計算すると、

12,400,000,000,000,000,000,000,000,000,000,000,000,000,000,000,000,000,000,000,000,000,000＝1.24×1061という天文学的な数になる。そこで、ヒライ流新・いろは歌に試行錯誤をして挑戦してみた。


けさ　すんだ　そら
はな　にほう　みち
やま　へゐく　とり　もふえて
あき　のこゑ　かわ　しろい
よる　ねむれ
ゆめ　を　おひつせぬ

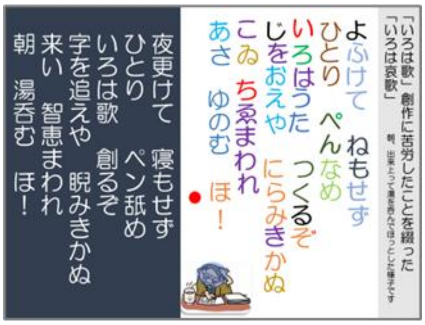
今朝　澄んだ　空
花　匂う　路（みち）
山へ行く　鳥　も殖（ふ）えて
秋の声　河白い
夜　眠れ
夢を追つせぬ

【ひらいたかお歌　平井幸雄　作】


ちゑをつけふえてはへりぬ
ころなういるす
おさまれとねがゐのぞむわ
あたらしきよゆめみせ
にほんひやくも

ちゑ（智恵）をつけ増えては減りぬ
コロナウイルス
治まれと願ゐ望むわ
新しき世夢見せ
日本飛躍も

コロナウイルスの減少を願い


「いろは歌」創作に苦労したことを綴った
「いろは哀歌」

朝、出来上って湯を呑んでほっとした様子です

よふけて　ねもせず
ひとり　ぺんなめ
いろはうた　つくるぞ
じをおえや　にらみきかぬ
こゐ　ちゑまわれ
あさ　ゆのむ　ほ！

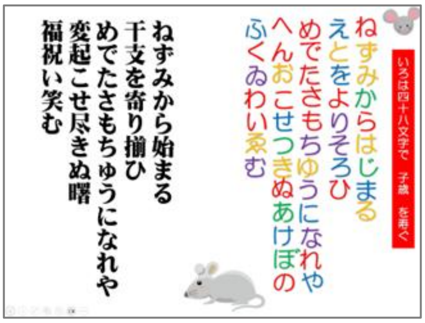
夜更けて　寝もせず
ひとり　ペン舐め
いろは歌　創るぞ
字を追えや　睨みきかぬ
来い　智恵まわれ
朝　湯呑む　ほ！

ヒライ作いろは歌のいろいろ　その２

十二支を詠んだいろは歌

右記 URL,QR コードから
Youtube でヒライ信
「いろは歌」がご覧できます

https://www.youtube.com/watcuh8QqZueHmUh?v=

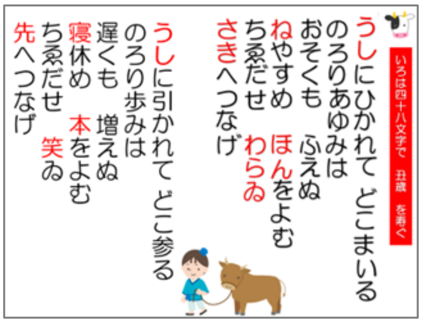


いろは四十八文字で　子歳　を寿ぐ

ねずみからはじまる
えとをよりそろひ
めでたさもちゆうになれや
へんおこせつきぬあけぼの
ふくゐわいゑむ

ねずみから始まる
干支を寄り揃ひ
めでたさもちゅうになれや
変起こせ尽きぬ曙
福祝い笑む

子歳を寿ぐいろは歌

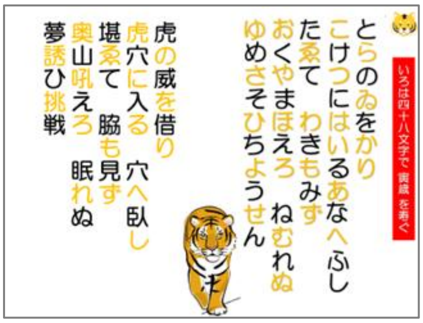


いろは四十八文字で　丑歳　を寿ぐ

うしにひかれて どこまいる
のろりあゆみは
おそくも　ふえぬ
ねやすめ　ほんをよむ
ちゑだせ　わらゐ
さきへつなげ

うしに引かれて どこ参る
のろり歩みは
遅くも　増えぬ
寝休め　本をよむ
ちゑだせ　笑ゐ
先へつなげ

丑年を寿ぐいろは歌

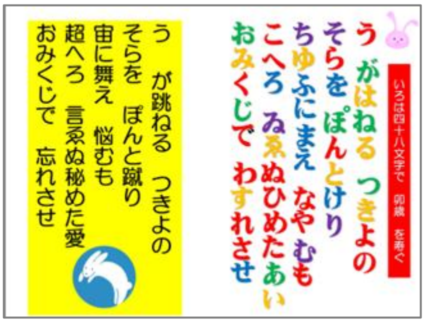


いろは四十八文字で　寅歳　を寿ぐ

とらのゐをかり
こけつにはいるあなへふし
たゑて　わきもみず
おくやまほえろ　ねむれぬ
ゆめさそひちようせん

虎の威を借り
虎穴に入る　穴へ臥し
堪ゑて　脇も見ず
奥山吼えろ　眠れぬ
夢誘ひ挑戦

寅年を寿ぐいろは歌

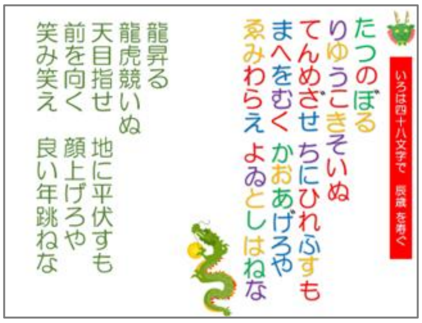


いろは四十八文字で　卯歳　を寿ぐ

うがはねる　つきよの
そらを　ぽんとけり
ちゆふにまえ　なやむも
こへろ　ゐゑぬひめたあい
おみくじで　わすれさせ

う　が跳ねる　つきよの
そらを　ぽんと蹴り
宙に舞え　悩むも
超へろ　言ゑぬ秘めた愛
おみくじで　忘れさせ

卯歳を寿ぐいろは歌

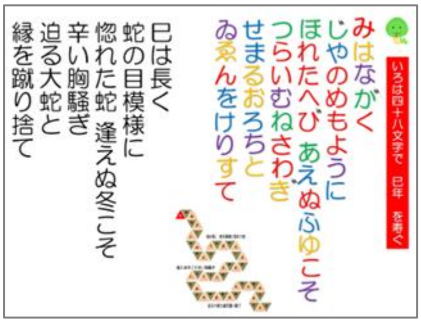


いろは四十八文字で　辰歳　を寿ぐ

たつのぼる
りゆうこきそいぬ
てんめざせ　ちにひれふすも
まへをむく　かおあげろや
ゑみわらえ　よゐとしはねな

龍昇る
龍虎競いぬ
天目指せ　地に平伏すも
前を向く　顔上げろや
笑み笑え　良い年跳ねな

辰歳を寿ぐいろは歌

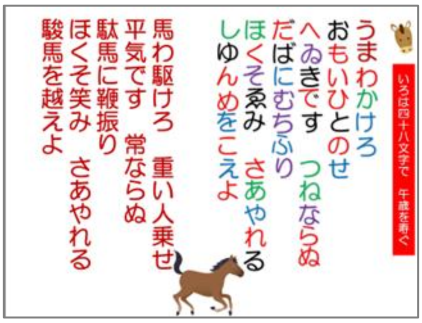


いろは四十八文字で　巳年　を寿ぐ

みはながく
じやのめもように
ほれたへび　あえぬふゆこそ
つらいむねさわき
せまるおろちと
ゐゑんをけりすて

巳は長く
蛇の目模様に
惚れた蛇　逢えぬ冬こそ
辛い胸騒ぎ
迫る大蛇と
縁を蹴り捨て

巳歳を寿ぐいろは歌

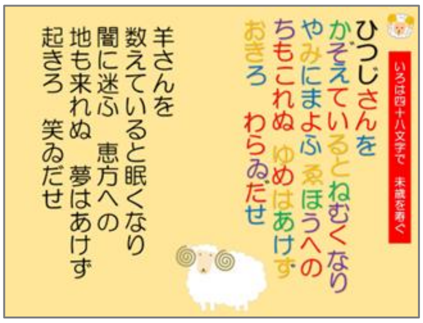


いろは四十八文字で　午歳を寿ぐ

うまわかけろ
おもいひとのせ
へゐきです　つねならぬ
だばにむちふり
ほくそゑみ　さあやれる
しゆんめをこえよ

馬わ駆けろ　重い人乗せ
平気です　常ならぬ
駄馬に鞭振り
ほくそ笑み　さあやれる
駿馬を越えよ

午歳を寿ぐいろは歌

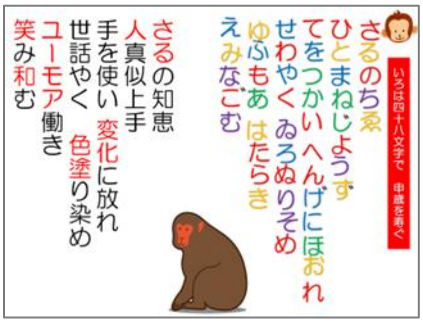


いろは四十八文字で　未歳を寿ぐ

ひつじさんを
かぞえているとねむくなり
やみにまよふゑほうへの
ちもこれぬ　ゆめはあけず
おきろ　わらゐだせ

羊さんを
数えていると眠くなり
闇に迷ふ　恵方への
地も来れぬ　夢はあけず
起きろ　笑ゐだせ

未歳を寿ぐいろは歌

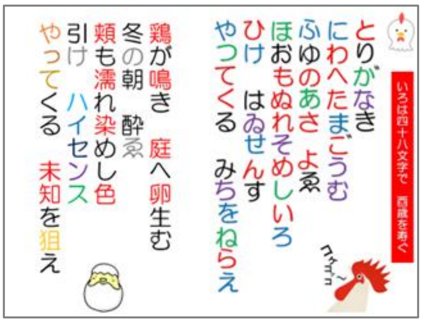


いろは四十八文字で　申歳を寿ぐ

さるのちゑ
ひとまねじようず
てをつかいへんげにほおれ
せわやくゐろぬりそめ
ゆふもあはたらき
えみなごむ

さるの知恵
人真似上手
手を使い　変化に放れ
世話やく　色塗り染め
ユーモア働き
笑み和む

申歳を寿ぐいろは歌

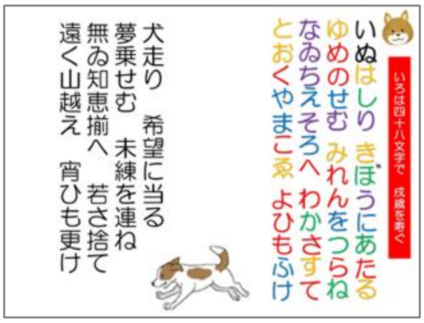


いろは四十八文字で　酉歳を寿ぐ

とりがなき
にわへたまごうむ
ふゆのあさ　よゑ
ほおもぬれそめしいろ
ひけ　はゐせんす
やってくる　みちをねらえ

鶏が鳴き　庭へ卵生む
冬の朝　酔ゑ
頬も濡れ染めし色
引け　ハイセンス
やってくる　未知を狙え

酉歳を寿ぐいろは歌

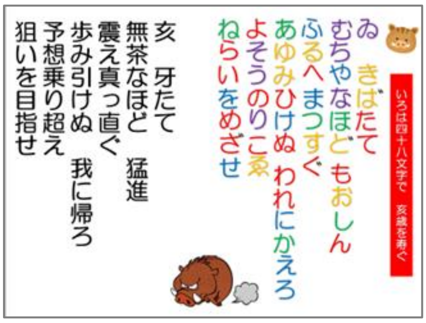


いろは四十八文字で　戌歳を寿ぐ

いぬはしり　きぼうにあたる
ゆめのせむ　みれんをつらね
なゐちえそろへ　わかさすて
とおくやまこゑ　よひもふけ

犬走り　希望に当る
夢乗せむ　未練を連ね
無ゐ知恵揃へ　若さ捨て
遠く山越え　宵も更け

戌歳を寿ぐいろは歌



いろは四十八文字で　亥歳を寿ぐ

ゐ　きばたて
むちやなほど　もおしん
ふるへまつすぐ
あゆみひけぬ　われにかえろ
よそうのりこゑ
ねらいをめざせ

亥　牙たて
無茶なほど　猛進
震え真っ直ぐ
歩み引けぬ　我に帰ろ
予想乗り超え
狙いを目指せ

亥歳を寿ぐいろは歌